

2022年3月31日（木）開催

---

# データサイエンティスト・ジャパン 2022

～ データから自社に適切な価値を創出、  
「現場発データ人材」が拓く未来 ～

協賛に関するご提案

2021年10月

日経BP

ver.1.0



# 企画趣旨

## データサイエンティスト・ジャパン 2022

### ～ データから自社に適切な価値を創出、「現場発データ人材」が拓く未来～

データ活用の巧拙が企業競争力を左右する時代が到来しています。データ活用は日本企業のDX推進の鍵を握る、経営の最重要課題といっても過言ではありませんが、経営判断に資するデータを活用して、成果にまで結びつけられている企業は多くありません。

変革を担う人材として必要不可欠なのが、現場にて日々生成されるデータ・社内に散在するデータの分析や活用が期待されるデータサイエンティストの存在です。優秀なデータサイエンティストの確保、育成は急務となっていますが、一筋縄にはいきません。

IT企業ではなく事業会社においても、データ活用に代表される高度IT人材に対して年収2000万円を提示する企業も出始めました。データによる変革を担う人材を現場を熟知する社員の中から自前で育成する動きも活発です。ダイキン工業、旭化成、JFEスチールでは独自の育成プログラムを用意。座学で終わらせず、現場の課題解決に取り組んでいます。

データ人材への積極的な投資が産業を問わず進んでいますが、自社が抱える課題を見出す人がいなければ解決には繋がりません。「自前で育成」の動きは、現場を深く理解している社員こそが課題を発見できるという考えに基づくものでしょう。

こうした中、日本企業にとって重要なことは、データ活用の目的を明確に定める、そしてその目的の下での試行錯誤ではないでしょうか。そのうえで、自前での現場発データ人材育成や部門間連携といった体制整備を前に進め、分析した結果を実際にどう「使う」か「使わせる」かにおいて、データ活用組織と事業部門を繋ぐデータサイエンティストが真の役割を果たすことができるのではないのでしょうか。

そこで本セミナーご協賛企業各社様には、適切なデータの取得から分析、見える化など、データ分析・活用のためのツールや基盤、コンサルティングサービスなどのソリューションをご紹介頂き、データ活用による成果・データから新たな価値を生むためのヒント、ビジネス課題解決のためのヒントを頂戴できればと考えています。

ぜひ、本セミナーにご協賛を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



# 開催概要

\* 2021年10月現在の計画です。変更になる場合がございます。予めご了承ください。

名 称	データサイエンティスト・ジャパン 2022
会 期	2022年3月31日（木） 10:00 - 16:20 （ 予定 ）
主 催	日経クロステック
協 力	日経コンピュータ
形 式	オンラインセミナー（Live配信形式）、1トラック 制
規 模	事前登録者 800名程度を想定
受講対象	企業の経営層、経営企画部門、IT部門、マーケティング部門、IT利用部門など ⇒ データ活用を促進し、企業競争力を高めたい経営者、経営企画マネジャー ⇒ 経営層の意志決定のための“見える”データを求められているCIO/ITマネジャー ⇒ データの見える化でアプローチを変えたいマーケティング担当者 ⇒ データ活用力を高めることで仕事力を高めたい IT利用部門・事業部門（LOB）の責任者、リーダー
集客告知	日経BPが保有するビジネス、IT関連媒体の読者DBなどを活用



# プログラム（予定）

\* 2021年11月現在の計画です。プログラムやタイムテーブル、枠組みは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

時間	内容
10:00-10:30	【基調講演】（主催者企画）
10:35-11:05	協賛講演 ①
11:10-11:40	協賛講演 ②
11:45-12:15	協賛講演 ③
	お昼休憩
13:30-14:00	【特別講演①】（主催者企画）
14:05-14:35	協賛講演 ④
14:40-15:10	協賛講演 ⑤
15:15-15:45	協賛講演 ⑥
15:50-16:20	【特別講演②】（主催者企画）

# 協賛プラン

\* 2021年10月現在の計画です。変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## ご協賛料金 350 万円 (税別)

- 講演枠 ( 30分間 ) 1枠提供
- 全受講登録者のリストご提供

\* セミナー受講申込開始後に協賛決定の場合、パーミッション文に社名を明示した時点以降の登録者のみをご提供対象となります

- 以下の媒体に講演レポート記事広告を掲載

- 雑誌版：日経コンピュータ 2022年5月上旬発売号 ( 予定 ) 4色2ページ
- Web版：日経 xTECH Special 2022年5月上旬 ( 予定 ) ~ 4週間掲載

( Web版は、雑誌版の講演レポートの完全流用。誘導メニューは本件オリジナル。各社共通の INDEX ページ有 )

- 講演資料1点のダウンロード ( 任意 )
- カタログ等の資料1点のダウンロード ( 任意 )
- 個別アンケートの実施 ( 任意 )

\* 運営ルールに基づく形にて ( 別途事務局よりご案内します )

# 2021年 開催実績

---

## データサイエンティスト・ジャパン 2021

～ 「現場発データ人材」が拓く新たな顧客価値、  
デジタル人材不足に打ち克つ ～

主催 : 日経クロステック

会期 : 2021年3月31日(水)

形式 : オンラインセミナー (Live配信形式)

協賛 : Cloudera, データブリックス・ジャパン, データビークル, デル・テクノロジーズ, インキュデータ,  
マクニカネットワークス, Snowflake (ABC順)

受講料 : 無料(事前登録制)

視聴者 : 829 名 (事前登録者:1300名)

- 基調講演 日本郵船 執行役員 兼デジタルイノベーショングループ グループ長 鈴木 英樹 氏
- 特別講演 データサイエンティスト協会 理事 調査・研究委員会 委員長 塩崎 潤一 氏
- 特別講演 ヤマトホールディングス 執行役員データ戦略担当 中林 紀彦 氏

※各講師の肩書は講演時(2021年3月31日時点)のものです

6



# 2021年 開催実績 視聴者アンケート集計結果

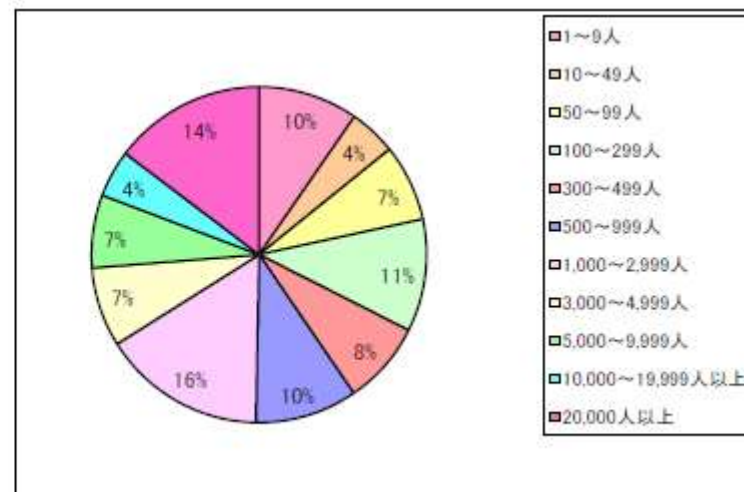
データサイエンティスト・ジャパン 2021

## ■ 従業員数：大企業勤務者が 約半数

### ■ お勤め先従業員規模

1～9人	78	10%
10～49人	37	4%
50～99人	60	7%
100～299人	88	11%
300～499人	65	8%
500～999人	80	10%
1,000～2,999人	128	16%
3,000～4,999人	62	7%
5,000～9,999人	57	7%
10,000～19,999人以上	37	4%
20,000人以上	119	14%
無回答	18	2%
合計	829	100%

( N= 829 )



# 2021年 開催実績 視聴者アンケート集計結果

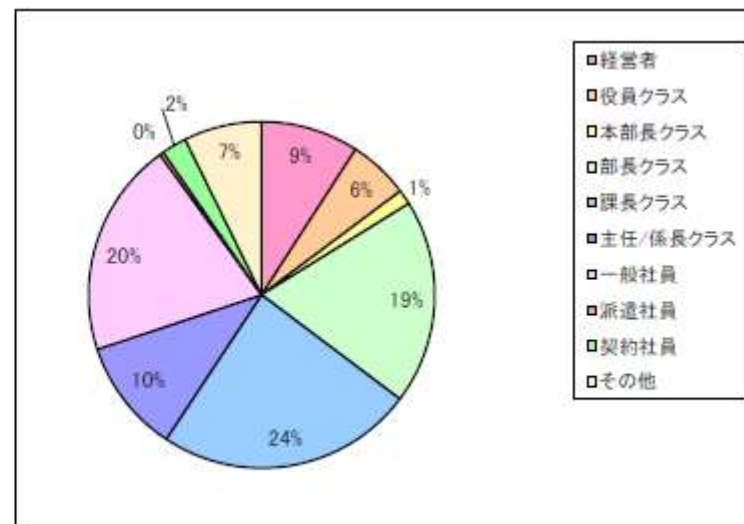
データサイエンティスト・ジャパン 2020

## ■ 役職：課長以上の役職者が 約 60%

### ■ 役職

1 経営者	74	9%
2 役員クラス	46	6%
3 本部長クラス	11	1%
4 部長クラス	155	19%
5 課長クラス	195	24%
6 主任/係長クラス	86	10%
7 一般社員	163	20%
8 派遣社員	3	0%
9 契約社員	19	2%
10 その他	59	7%
無回答	18	2%
合計	829	100%

( N= 829 )





# スケジュール／お問い合わせ

\* 2021年10月現在の計画です。変更になる場合がございます。予めご了承ください。

- 2022年2月8日(火)      ご協賛申込締切
- 2月下旬              告知・受講登録開始
- 3月31日              データサイエンティスト・ジャパン 2022 開催
- 4月上旬              受講登録者リスト、開催報告書のご提供
- 5月上旬以降        各媒体に 講演レポート掲載

※本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

日経BP 技術メディア広告部  
E-Mail: [c-ad@nikkeibp.co.jp](mailto:c-ad@nikkeibp.co.jp)  
TEL 03-6811-8025

9



# 個人情報を提供する際の取り扱いルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。  
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

## 1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

## 2. 顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP リードジェン支援システム」を使用してお提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先:日経BP リード・サポートセンター( E-mail:lgsc10@nikkeibp.co.jp )

## 3. 顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

## 4. 顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

## 5. 提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。  
万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。